

6 市民意見等の状況

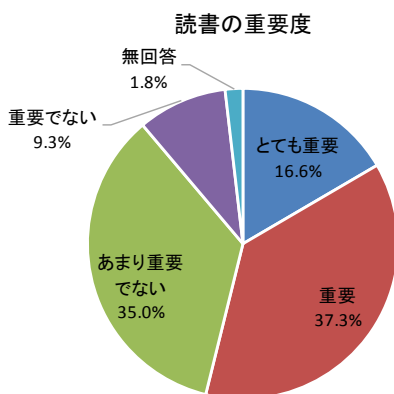
平成 28 年度に実施しました市民アンケート調査結果等については、次のとおりとなっております。詳細については、資料編に掲載しています。

(1) 市民アンケート調査結果

- ・ 調査期間 平成 28 年 8 月 1 日～同年 8 月 22 日
- ・ 回収サンプル数 869 件

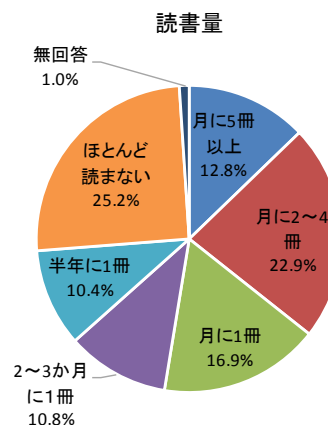
① 読書に関する状況について

ア 読書の重要度



重要度が高いと考えている層が、5割以上を占めました。

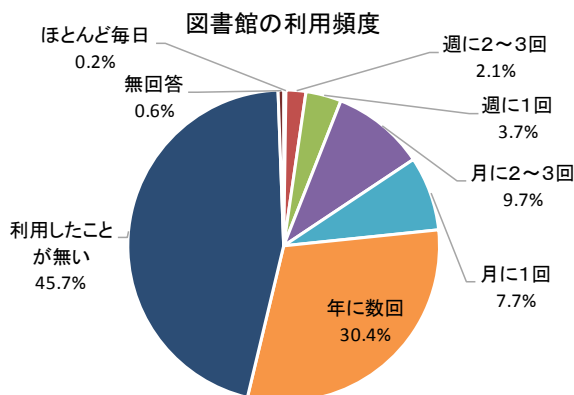
イ 読書量



月 2 冊以上読む人と、ほとんど読まない人がそれぞれ 4 分の 1 以上であり、ばらつきが見られました。

② 現在の中央図書館（児童図書室を含む）について

ア 利用頻度



全体的に図書館利用経験が、少ないことが分かりました。

イ 利用目的（上位5つの回答）

利用目的	件	割合
図書を借りるため	331	70.1%
気分転換、リフレッシュするため	161	34.1%
館内での図書、新聞等を閲覧するため	154	32.6%
宿題、勉強をするため	111	23.5%
子ども等の付添いのため	68	14.4%

図書を借りる以外にも、特に目的が無くとも気軽に行ける場所という捉えられ方をしていることも伺えます。

ウ 利用しない理由(上位5つの回答)

利用しない理由	件	割合
本は購入して読んでいる	169	42.6%
本をあまり読まない	132	33.2%
忙しくて行く暇がない	123	31.0%
自宅や学校、勤務先から遠い	92	23.2%
場所や利用の仕組みが分からない	81	20.4%

エ 充実してほしいもの(上位5つの回答)

充実してほしいもの	件	割合
居心地の良い空間	450	51.8%
書籍、雑誌等の充実	396	45.6%
交通の利便性・駐車場の充実	270	31.1%
インターネットやWi-Fi 環境の充実	223	25.7%
書籍、雑誌、資料等の探しやすさ	211	24.3%

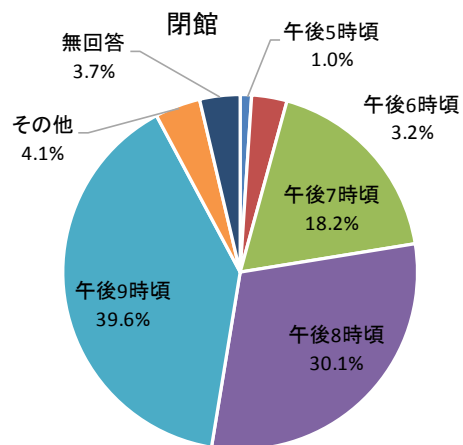
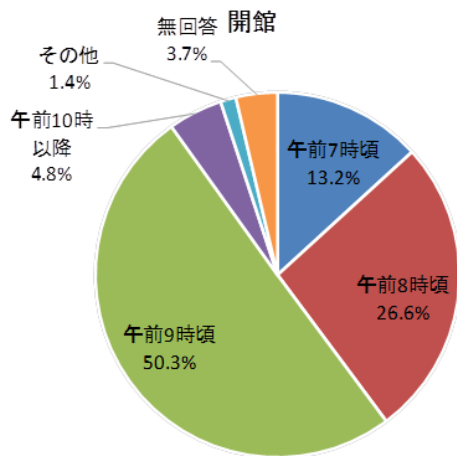
③ 酒田コミュニケーションポート (仮称) について

ア ライブラリーセンターで何ができれば良いか (上位5つの回答)

何ができれば良いか	件	割合
目的がなくても気軽に立ち寄れる	429	49.4%
くつろぎながら読書ができる	286	32.9%
飲食ができる	273	31.4%
仕事、学校帰りに気軽に立ち寄れる	258	29.7%
静かな部屋で調査や自習ができる	211	4.3%

多様な使われ方が、求められていると想定できます。

イ ライブラリーセンターの開館時間



ウ 広場で何ができれば良いか
(上位5つの回答)

何ができれば良いか	件	割合
休憩ができる	430	49.5%
飲食ができる	424	48.8%
イベントの開催	410	47.2%
待ち合わせや談話ができる	361	41.5%
緑を感じることができる	328	37.7%

エ 駅前への交通手段は何ですか
(上位5つの回答)

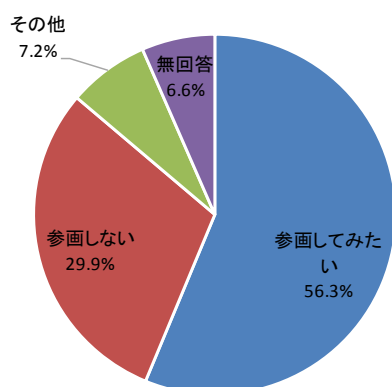
交通手段	件	割合
自動車	603	69.4%
自転車	181	20.8%
バス	100	11.5%
徒歩	84	9.7%
電車	38	4.4%

オ 観光情報センターに求めるサービス (上位5つの回答)

求めるサービス	件	割合
休憩ができる (カフェ等を含む)	418	48.1%
お土産品の充実	380	43.7%
インターネットやWi-Fi環境の充実	190	21.9%
ライブラリーセンターの地域情報資料を活用しての情報発信	137	15.8%
バーチャル映像等による歴史、文化、自然の紹介	135	15.5%

カ イベント企画や施設運営等への参画

運営等への参画



「その他」でも、内容による、時間が合えば、という回答が多くあり、関心は高いことが伺われました。

④ クロス集計分析

ア 図書館を利用したことが無い市民の分析

- ・読書の重要度や読書量が全体より低く、図書館を利用しない理由も、本を読まない、購入するという割合が高い。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては、蔵書の充実より、気軽に立ち寄れる、飲食ができるという回答割合が全体より高い。
- ・イベント企画や施設運営等への参画も「してみたい」という回答が多く、きっかけさえあれば、参画する意欲はあると考えられる。



- 蔵書の充実では、利用者には結びつかない層である。
- 気軽に立ち寄れるきっかけ（イベント、居心地の良い空間等）があれば、利用者になる可能性がある。
- イベント企画や施設運営等に参画する意欲が高いため、その場づくりが利用者となるポイントである。

イ 中学生、高校生、専門学校生・大学生及び20歳代の分析

- ・年齢が上がるにつれ、読書の重要度が低くなっている。読書量では、ほとんど読まないという回答が、特に高校生に多く見られた。
- ・図書館を利用しない理由として、アクセスの悪さ、時間がない、本は購入して読んでいるという回答が高くなった。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」「飲食ができる」が共通して支持があった。
- ・イベント企画や施設運営等への参画も「してみたい」という回答が多く、特に、10歳代は、世代間で最も高く、参画する意欲はあると考えられる。



- 中学生から高校生への過程で、読書の習慣を持続させる取組が必要である。
- 蔵書以外の施設の魅力を持たせる必要がある。
- 施設へのアクセスの改善が求められる。
- 飲食ができ、目的がなくても立ち寄れる気軽さづくりが、若者たちの居場所となるためには必要である。
- イベント企画や施設運営等に参画する意欲がとて高いため、その場づくりが利用者となるポイントである。

ウ 午後9時頃の閉館希望者の分析

- ・年齢では、10歳代～50歳代で支持が最も多くなっている。60歳代では2番目、70歳以上では3番目に下がる。

- ・職業別では、午後 9 時頃と回答した人の 37.5%を会社員が占める。
- ・図書館の利用頻度が低い人が、回答者の 78.8%を占める。
- ・図書館で充実してほしい機能として、「利用しやすい開館日・開館時間」、
「インターネットや Wi-Fi 環境の充実」と回答した人の半数以上が選択している。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかについて、「飲食ができる」と回答した人の約半数が選択している。



○あまり利用していない層が来館するきっかけの一つとなり得る。
○午後 9 時頃まで開館していれば利用しやすいと感じる人が多く、インターネットや Wi-Fi が使え、飲食ができれば、さらに利用動機が高まる。

エ 図書館の定期的利用者（月に 2～3 回以上利用すると回答した方）の分析

- ・女性が 70.6%を占めている。年代は 40 歳代（23.5%）、10 歳代（22.8%）、60 歳代（13.2%）の順に多くなっている。
- ・読書の重要度が高いと考えている人が 87.5%、本を月に 2 冊以上読む人が 72.1%を占めている。図書館の利用目的も「図書を借りるため」が 84.6%、図書館で充実してほしい機能も「書籍、雑誌等の充実」が 62.5%に上る。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかでは、「静かな部屋で調査や自習ができる」「くつろぎながら読書ができる」の回答割合が全体より 5 ポイント強上回っている。
- ・一方で、図書館で充実してほしい機能で「居心地の良い読書空間」、ライブラリーセンターで何ができれば良いかで「目的がなくても気軽に立ち寄れる」が「くつろぎながら読書ができる」よりも 10 ポイント高い。



○本や読書に関するニーズが高い層である。
○資料の充実、静かな読書環境が図書館に求められている。
○現在の図書館でもニーズには、一定程度応えていると考えられるが、この層からも居心地の良い空間、目的がなくても気軽に立ち寄れる雰囲気なども求められていると言える。

⑤ アンケート結果からの考察

以上の結果を踏まえ、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画を策定するあたり、検討するにあたってのポイント（視点）は、次のとおりです。

- 図書館利用経験が全体的に少ない。

- 「場所や利用の仕組みが分からない」という市民も2割を超えている。
- 観光の面では、お土産品の充実の声が多い。
- 駐車場の充実、アクセスの改善を求める声が多い。
- 子ども連れや高齢者、障がい者が利用しやすい、若者が集えるような施設にしてほしいという回答が多い。
- イベント企画や施設運営等への参画意欲が高い。



- 新しい機能（カフェ、飲食可能、Wi-Fi環境等）をもつライブラリーセンター
- 施設の積極的なPR活動、情報発信の充実
- お土産品の充実の声が多く、地元企業等と連携した販売方策の検討
- 公共交通の充実の検討
- 開館時間の延長
- 対象別（世代別等）の方策、住み分けを意識した施設づくり（ゾーニング）の検討
- 市民参加の場面を組み込んだ施設の運営のあり方の検討

(2) 高校生アンケート調査結果

- ・調査期間 平成28年8月25日～同年9月1日
- ・回収サンプル数 694件

① 通学途中や休みの日等に、利用しやすい、利用したくなる駅前公共施設となるため、必要な機能、スペース、設備、サービス等（上位5つの回答）

必要な機能等	件	割合
インターネットやWi-Fi環境の充実	500	48.1%
自由に飲食できるスペースがほしい	405	43.7%
勉強できる場所の充実	264	21.9%
友人と雑談しながら、本を読む場所	182	15.8%
屋外でも休憩できるようなテラスやベンチの設置	176	15.5%

※マンガをたくさん置いてほしい（男性の回答で上位）



図書資料や読書スペースの充実 < 交流・滞在型の機能

② 主な自由意見

- ・カフェが欲しい（価格設定や雰囲気でも中高生が入りやすいようなカフェ）
- ・買い物ができる場所や友人と遊べる場所が欲しい
- ・静かにするスペースと賑やかにできるスペースを分けて欲しい（目的によって使用するスペースを変えたい）

一人でゆっくり静かに過ごす < 友人等と交流できる場所

図書資料や読書スペースの充実に直接つながるものよりも、交流・滞在型の機能を求める傾向が強く見られました。

唯一、属性比較で傾向が違ったのが男性で、「マンガをたくさん置いてほしい」が上位5つの中に選択されています。

自由意見の傾向からは、一人でゆっくり静かに過ごすよりも、友人等と交流できる場所を求めていることがわかりました。

(3) 市民ワークショップ結果

回	テーマ	日時	場所	参加者数
1	新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう	・平成28年9月22日（木） ・9:30～12:30	交流ひろば 1階	30
2	酒田らしさを施設に活かそう	・平成28年10月2日（日） ・9:30～12:30	同上	24
3	新しい施設の使い方を考えよう	・平成28年10月22日（土） ・13:00～16:00	同上	19



① 第1回のまとめ

「新しい施設に必要なと思う機能、欲しいと思う機能」について、「ライブラリーセ

ンター」「観光情報センター」「カフェ」「広場・駐車場・バスベイ」の4つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、ディスカッションを行いました。出された主な意見は、次のとおりです。

○ライブラリーセンター

機能	アイデア
勉強・仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード付の自由に使われる会議室、打合せスペース ・ビジネス支援コーナー（就業や企業に役立つ情報と書籍）
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・本の宅配貸し出しサービス、郵便で返却できる ・他図書館の本も借りられるシステム ・お勧めの本を紹介してくれるサービス ・小中学生の宿題や自由研究のサポートをしてくれるボランティア ・コンシェルジュの設置
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・快適なトイレ ・ちょっとした買い物ができる機能を併設 ・固定イスでなく自由に変えられる小スペース

○観光情報センター

機能	アイデア
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 機能
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報誌にない観光情報の提供 ・観光ガイドの強化（ガイド養成） ・郷土芸能、文化、歴史がわかる展示施設
買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・地酒を試飲できてその場で購入できる ・地元食材、郷土料理の実演販売 ・お土産品（食品）を販売しているスペース

○カフェ

機能	アイデア
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消のメニュー
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の飲食店とのコラボイベント開催
使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物や飲み物の持ち込みオーケー ・機材（ホワイトボード等）を貸し出すサービス ・Wi-Fi の導入 ・平日の仕事後も利用できる営業時間 ・携帯やノートパソコンが充電できる
雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子供と気軽に入れる ・ゆったりくつろげる ・ペットを連れて行ける ・若者が集まる、かわいい、きれいと思えるような商品やデザイン ・昼と夜の営業で違った雰囲気を出してほしい

○広場・駐車場・バスベイ

機能	アイデア
広場	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi の導入 ・夜はミニライブができる ・小さい子供が遊べる ・季節の花が咲く ・バーベキューやスポーツができる ・芝があり、転がって遊べる
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場のマークの表示をわかりやすくする ・マンション駐車場と外部から駐車する場所を分ける ・低料金（無料）で広く、止めやすい駐車場 ・雨風に当たらないで施設に行けて、融雪設備がある
バスベイ	<ul style="list-style-type: none"> ・電車、バスの出発前の全館アナウンス ・高齢者や体が不自由な人も便利に使えて見やすいバス停の時刻表 ・休憩スペース

② 第2回のまとめ

「酒田のアピールポイント」について、「食」「自然」「歴史・伝統」「観光スポット」「その他」の5つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、アピールポイントを施設に活かす方向性として、「情報発信」「イベント」「デザイン」という3つのテーマでまとめを行いました。出された主な意見は、次のとおりです。

テーマ	実施場所	アピールポイント
イベント	ライブラリーセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内の四季の映像を流し、山居倉庫、北前文化（主に酒田の歴史）について知るイベント ・本間家や光丘の歴史的発進、地域文化人の紹介、地域文化のデジタル化による紹介 ・光丘文庫のできた日を酒田市立図書館の記念日としてイベントを開催
	観光情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に出張してもらおう出張観光
	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの学びと結び付けられるような自然体験型イベント ・酒田の特産フェア（広場で屋台（ラーメンや芋煮など）を出したり、民族芸能のステージを作ったり、祭りのような雰囲気です）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けイベント
情報発信	施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ・映像で食を発信（五感で感じる） ・サイネージやプロジェクションマッピングで季節毎の情報発信をする ・屋上デッキを設ける（視覚利用しての情報発信） ・SNS を活用
	ライブラリーセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田市に関する観光図書センターの設置

	観光情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田見所カレンダーの掲示 ・アウトドアレジャー窓口への誘導 ・タブレット端末の設置
	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りやイベント(ラーメンや酒など)の拠点となる場所にする
	駐車場・バスベイ	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車券にQRコード(市のHPやガイドなどにアクセスできる、有料広告で収入確保)、利用回数に応じての割引サービス ・サイネージでの乗換案内
デザイン	施設の外観	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野弘の詩を壁に書いたり、土門拳の写真を貼ったり、酒田の著名人の作品をどこかに取り入れる ・屋根を山並みや波に見立てたデザインにする ・酒田の名物・名産(北前船等)をモチーフにしたモニュメントの設置
	内装	<ul style="list-style-type: none"> ・一部に木の感触を味わえるような東屋を作る
	企画	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田を知るコーナーを設置する(最上川や山居倉庫、ラーメン等)

③ 第3回のまとめ

①必要と思う場所・機能②なぜ必要なのかの理由③必要と思う場所や機能の具体的な使い方、を個々に書き出し、それらアイデアを「学びの場」「子育ての場」「情報発信の場」「交流の場」「その他」というテーマで分類し、さらに具体的な場をイメージしながらまとめを行いました。出された主な意見は、次のとおりです。

テーマ	アイデアのまとめ
学びの場	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田の歴史や魅力について深く知れて、酒田を好きになれる ・光丘文庫の残っている本の閲覧とアーカイブ(本の説明、DVDの録画のアーカイブ)ができる ・学生が時間を有効利用できて使いやすい場にする ・さまざまな読みたい本のニーズに応えられる ・「ひとり」と「みんな」を自在に使える(一人で集中する、みんなで作業するスペースの棲み分け) ・生活の利便性の向上を学べる場
子育ての場	<ul style="list-style-type: none"> ・児童+ジュニアコーナー(おしゃべりしたり泣いたりしても気にしないで利用できる場) ・親子連れが気軽に立ち寄れて、どちらも楽しめる ・「公園デビュー」に代わる「〇〇デビュー」ができる ・小さい子が安心して遊べる場 ・子育て情報を共有し相談できる場
情報発信の場	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信できる掲示板(サイネージ) ・人を集めたい、発信したい人のための部類分けをして、明確な発信ができる ・酒田らしさを発信する(市民にも!観光客にも!) ・観光情報センターとの連動

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元と来訪者のロコミが行き交う
交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・有料の会議室、学習室（個室）の設置 ・軽食の持ち込みができる ・読書だけに限らず、多目的に使用できる ・おしゃべりができたり、くつろげたりできるスペースの設置（観光客も市民も） ・おいしくて、おしゃれで、落ち着けるカフェの設置 ・集客イベントのできる場+駅前の「交流」の拠点
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに応える場（サイレントルーム、オープンな学習スペース） ・返却ポスト（ドライブスルー、駅返却ポスト etc.） ・観光みやげを買える所（簡単な情報の発信） ・「いつ」でも「誰」でも使いやすい（例えば、夜間返却、荷物預かりサービス） ・夜遅くまでの営業時間

(4) 高校生ワークショップ結果

県立酒田光陵高等学校生徒によるワークショップを、東北公益文科大学学生の協力ののもと、平成28年10月7日に行いました。

高校生が図書館に行かない理由として、「話せるスペースがない」「まじめな場所、堅苦しいというイメージ」「求めている本がない（漫画、新刊本など）」「飲食ができない」「携帯が使えない」「遠い」などの意見がありました。

図書館に何があったらよい（行く）かについては、「携帯が使え、充電ができる」「Wi-Fiの設置」「飲食ができる。そのための売店やカフェ」「世代に合わせた本の充実」「図書館自体をおしゃれに」「酒田の特産品を使った地産地消する図書館」「話せる場所と静かな場所を分ける」「休める場所、個室」「図書館で欲しい本を見つけたら本屋ですぐに買える」「運動ができる」「買い物ができる」「映画館」「文具店」「音楽が流れている」「イベントスペース」「動物と触れ合える」など、多彩なアイデアが出されました。



(5) 各団体等意見交換結果

○意見交換実施団体等

- ・子育てママさん
- ・松陵学区コミュニティ振興会
- ・読み聞かせボランティア（あさの葉会）
- ・障がい者福祉会
- ・酒田商工会議所情報 サービス部会
- ・東北公益文科大学 学生
- ・読み聞かせボランティア（絵本の部屋）
- ・点字読書会
- ・（社）子どもの読書サポートアシード
- ・市老人クラブ連合会
- ・コワーキングスペース__アンダーバー利用者、コンシェルジュ

施設	カテゴリ	意見（一部抜粋）
ライブラリーセンター	児童図書室について	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが騒いでも大丈夫なような雰囲気だといいい。 ・ドライブスルーみたいに車から降りずに本を返却できると便利である。 ・子供が図書館に本を返しに行ったら、お話をしているのに気付いて途中で参加できる動線を確認したい。 ・本棚などを置いていないシンプルな読み聞かせ部屋だと、子供が目移りせずに集中できる。
	空間、動線関係	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに本を読みたい大人と、子供のお話会をするスペースの住み分けをうまくしてほしい（ソフトバリアードが理想）。 ・（視覚障がい者のための）凸凹が少ない室内用の誘導ブロックを、人がよく通る入口やトイレの近くに導入を検討してほしい。 ・多目的な部屋がほしい（音訳図書の読み聞かせや研修室などに利用）。
	蔵書・配置	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本と小説の境目がわかりづらいところがある。 ・録音図書の充実。視覚障がい者だけでなく、目が悪くなって活字を読むのがつらい高齢者など様々な立場の人に活用することができる。 ・作家ごとの本の配列だと探しやすい。
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の仕事は専門職であり、サービス業のため、人材の充実や教育が大事だと思う。魅力的な本を魅力的に紹介できる人が必要である。 ・飲食スペースがほしい。 ・借りた本が気に入ったら購入できるといい。 ・司書や利用者のおすすめ本を紹介する。 ・貸出本のランキングコーナーを設置する。 ・利用者の調べ物のサポートを充実する。 ・本の作者のトークショーがあるといい。 ・ホワイトボード等に企画展示の紹介をしたり、積極的にポップを作成したりする。
	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・流行っている本を学校図書と市立図書館のどちらかが持つという連携があればいい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの取り組みをしているが、家で読み聞かせ（家読）や図書館、学校での取り組みも大事になってくる。 ・公共図書館と点字図書館が連携して、点字図書等の情報提供をしてもらいたい。 ・酒田市にゆかりのある人の本を観光情報センターにも置く。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いまの利用者の現状は、文化センターで活動する人がついでに図書館も利用するという人が多いので、駅前に移行することでの人の流れや利用の便が変わる不安や戸惑いがある。 ・（視覚障がい者のために）音声案内があればと思う。 ・（聴覚障がい者のために）字幕が写る電光掲示板が欲しい。図書館を利用している聴覚障がい者多いが、本に夢中になっていると周りの変化に気づきにくい。災害等が起こった時に電光掲示板で文字が光ってお知らせしてくれるといい。 ・図書館は高齢者の居場所という役割もあるし、現在の図書館を好きで利用している人も大事にしてほしい。 ・SNSの積極的な活用（司書紹介、イベントや利用サービスの周知等）をする。 ・HPで司書の自己紹介ページ（顔や専門分野、好きな本等）を作り、利用者が行きやすくなるよう顔が見える図書館になってほしい。
観光情報センター	観光・食	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田は海鮮という割に、海鮮市場に行くまでが大変（交通手段も含めて）。駅前で酒田の海産物を取り入れたお弁当の販売があるといい。
	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報センターで、他の県の観光情報誌を置くようにしてほしい。 ・宿泊施設の空き状況の共有化されるといい。
カフェ	雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・子連れの人が利用するのであれば、庶民的な親しみやすいカフェが併設されるといい。
	メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消のメニューを出してほしい。
駐車場・バスベイ・広場	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースは広く取ってほしい。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・車が無い人でも行きやすい交通手段が欲しい（バス等） ・電車やバスの時刻等を知らせる電光掲示板があるといい。
その他	空間	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生がお金を使わずに過ごせる場所がほしい。 ・フリースペースや運動ができるスペースがほしい。